

2025年度三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

計画タイトル※申請書と同じタイトルを記載すること	採択コース
オーストラリアで持続可能な有機農業について学ぶ	Bコース

学生情報	
氏名	若松 真穂
所属学部・研究科	生物資源学部資源循環学科
学年(出発時)	4年

渡航先情報	
渡航先	オーストラリアのケアンズ
渡航先滞在期間	2025年8月6日～2025年8月20日
訪問先機関等	有機果樹園
訪問先機関での身分	ボランティア

渡航概要と内容
<p>私は、オーストラリアのケアンズ近郊にあるマリーバという町の有機果樹園でファームステイを行いました。自然と共に暮らしながら、持続可能な農業について学ぶことを目的とし、日々の農作業や共同生活を通じて多くの経験を積みました。滞在先は「Workaway」というウェブサイトを通じて見つけ、現地のホストや世界各国から集まったボランティアと共に生活しました。日常の中でお互いの文化を紹介し合ったり、一緒に料理や運動をしたり、町へ出かけたりすることで、さまざまな価値観や考え方に触れ、グローバルな視野を広げることができました。具体的な活動内容としては、有機フルーツの収穫・加工、果樹の手入れ、雑草や果樹に絡みついたツルの除去、建物や庭のメンテナンスなどを行いました。実際に農作業を体験することで、持続可能な農業の大切さを理解するとともに、環境問題や気候変動が農業に与える影響について考えるきっかけとなりました。また、共同生活の中で異なる国籍や文化を持つ人々と協力し合う経験は、英語でのコミュニケーション力を高めるだけでなく、挑戦力や柔軟性を養う機会にもなりました。このように、大学の講義だけでは得られない学びを実際に体験できたことは、自分自身の成長に大きくつながったと感じています。</p>

渡航により達成できたこと
<p>自然と共生する暮らしの中で、「環境に配慮した持続可能な生活」を実際に体験することができました。滞在先の農場では、自然との調和やオーガニック栽培を大切にしている姿勢から、自然本来の姿を尊重する意識を強く感じました。また、生活の中でトラブルが起こった際には、周囲に助けを求めたり、自分で解決策を考えたりしながら乗り越えることができ、その経験は大きな自信につながりました。さらに、世界各国から集まったボランティアと共に生活することで、文化や価値観の違いを学び、異なる背景を持つ人々と協力する力を養うことができました。初めての環境で外国語を使って生活することは私にとって大きな挑戦でしたが、言葉以外にも伝える方法があることに気づき、積極的にコミュニケーションをとる姿勢が大切だと実感しました。</p>

渡航を通じて感じたこと・学んだこと

自然と向き合う生活を送る中で、自分自身の生活や価値観を見直すきっかけとなりました。現地では、髪を染める際の染料もオーガニック製品を自ら作り、裸足で生活し、果樹園で収穫したオーガニックフルーツだけを食べるなど、自然と調和した暮らしをしていました。自然や動物を心から愛し、持続可能な生活を大切に宿すの姿を通じて、日本での暮らしとの違いや、環境に対する意識の差を強く実感しました。また、ホストはこれまでに何百人ものボランティアを受け入れてきたにもかかわらず、全員のことを覚えており、「私たちにとっては日常の二週間でも、彼らにとっては人生の中の特別な二週間だから全員を覚えている」と語っていました。さらに、実際に私に対しても二週間という限られた時間でありながら、興味をもってたくさん話を聞いてくれたり、挨拶は日本語でしてくれたり、様々な場所に連れて行ってくれたりと、多くの経験をさせてくれました。一人一人との出会いを大切に、心から人を尊重する姿勢に深い感銘を受けました。この経験を通して、環境への配慮だけでなく、人とつながりを大切にする姿勢や、日常の中の小さな出会いや経験が人生において大きな意味を持つことを学びました。

今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回の経験を通して、自身の英語力の不足を痛感しました。特にネイティブ同士の会話に入ることは難しく、内容を理解できても自分の気持ちをうまく言葉にできず、もどかしい思いをする場面が多くありました。しかし、日々英語を使いながら生活する中で、少しずつ聞き取れる内容が増え、自分から会話に参加できる機会も増えていきました。それでもなお、滞りなく会話するにはまだほど遠いと感じており、普段から英語に触れる機会を意識的に増やし、継続して学習していく必要性を強く感じました。また、異国の地で自ら判断し、行動し、問題を解決しながら過ごした経験により、自立心や挑戦する姿勢を培うことができました。これらの力は、将来どのような進路を選んでも必ず活かせると考えています。

この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

私にとって今回の渡航は、ほとんど初めての海外経験でした。最初は「一人で本当にやっていけるのかな」と不安でいっぱいでしたが、実際に行ってみると不安よりも新しい発見や出会いが多く、本当に行ったら良かったと思っています。金銭面などの理由で留学をあきらめてきた人にとっても、この事業は挑戦できるチャンスになると思います。準備や計画は大変に感じるかもしれませんが、それも含めて貴重な経験になりました。迷っている人がいれば、ぜひ挑戦してみてください。

計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費(往復)	125,540円
海外旅行保険	8,308円
学費(教科書代や大学等プログラム授業料等)	
宿泊費	14,709円
光熱費	
食費	20,171円
その他	131,436円
合計	300,164円